

優良ホール 100 選に総合文化芸術センター 優秀な運営スタッフ、高品質で高頻度な事業が評価

4月1日、枚方市総合文化芸術センター(新町2)が一般社団法人日本音響家協会の「優良ホール100選」に認定された。同センターは、高品質な事業を高頻度で行っていることや、貸館事業への配慮、ベテラン音響スタッフによる機材保守管理やイベント時の誠実な対応などが高く評価されたもの。

4月12日(金)には同協会の代表4人が市役所を訪れ、認定書が贈呈された。

★演劇・音楽・放送などの音響を創造する芸術家と、劇場・ホールなどを設計する技術者で組織する日本音響家協会が、優秀な運営スタッフがいるホールをたたえ公表することで、各地のホールが地域住民から愛されるようになることを目的に、2000年に「優良ホール100選」を創設。現在、約90のホールが認定され、関西ではフェスティバルホール(大阪市)やいずみホール(大阪市)、びわ湖ホール(大津市)、兵庫県立芸術文化センター(西宮市)など約20のホールが認定を受けている。



4月12日に開催された贈呈式の様子

★選定方法は「劇場技術者からみた使いやすいホール」を全国の同協会会員から推薦を受け、同協会の評議会によって審査される。対象施設は官民、運営形態による区別はない。認定基準は①舞台設備が十分に維持管理されていて、うまく機能している。保守・修理・清掃などが十分に行われ、機材リストにある機器を常時使用できる状態にしている②舞台設備の運用スタッフが十分な技術力を持っている、など5項目。

★総合文化芸術センターの推薦理由は次のとおり。

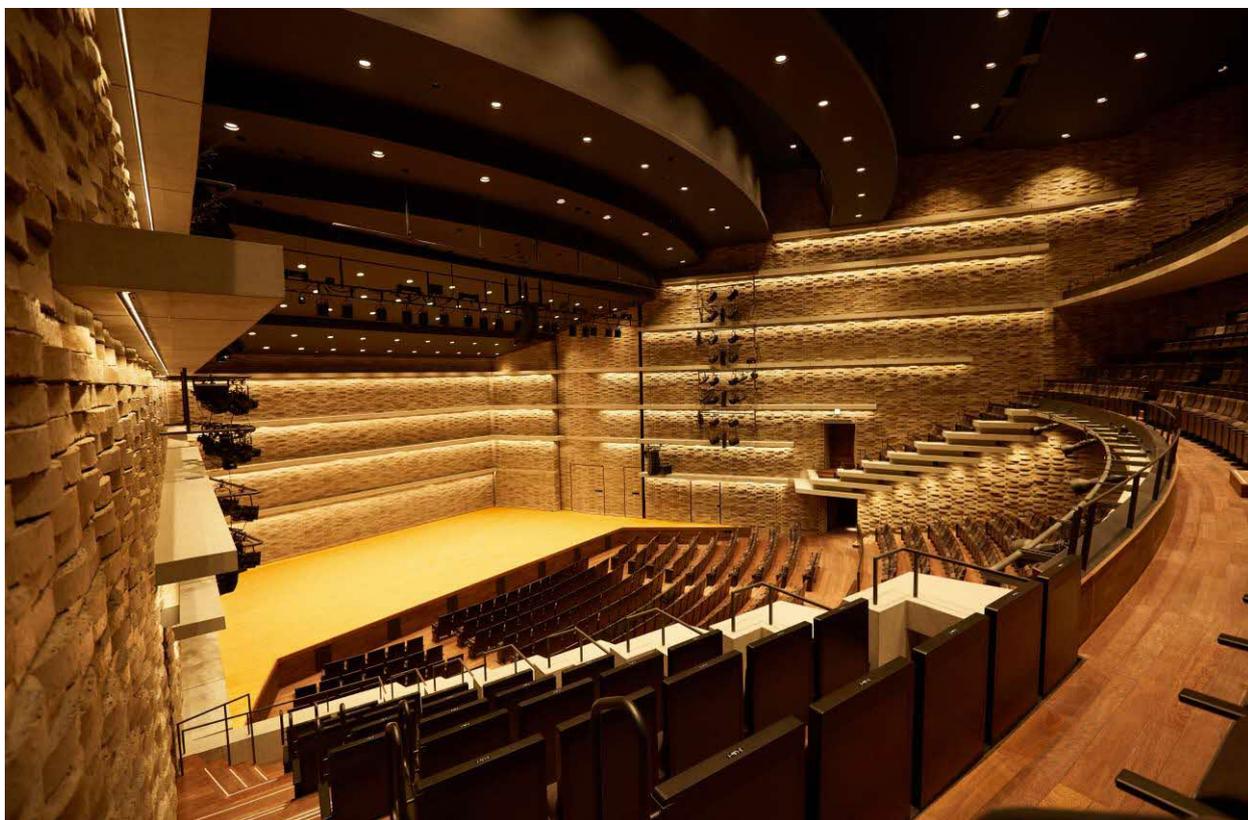
指定管理者による管理運営だが、市との連携がうまく機能しており、市が指定した内容の年間約100本の主催行事を指定管理者が企画・運営し、高品質な事業を高頻度で行っている。市民アマチュア団体等への貸館事業にも配慮した運営を行い、利用者との打ち合わせには舞台技術専任スタッフも応対し技術的なアドバイスを行っている。音響スタッフは、ベテランスタッフが常駐、各ホールに1名の専任ベテランスタッフを配置し、機材保守管理、整理整頓、清掃は行き届き、イベント時の対応も誠実である。稼働率が高く、市内外の利用者にとって、満足度の高い、人気の施設となっている。

★総合文化芸術センターでは今年度も多彩なプログラムを楽しめる。

4月21日（日）には、森高千里コンサートツアーが大盛況を博したほか、5月25日（土）午後2時から0歳から入場できるコンサート「音楽の絵本 ブリランテ」を開催する。本格的なクラシックから映画音楽、童謡まで、動物たちが奏でる多彩な音楽の世界を、赤ちゃんから大人まで家族で一緒に楽しむ。

また、8月3日（土）には劇団四季ファミリーミュージカル「ガンバの大冒険」、9月28日（土）には大阪フィルハーモニー交響楽団とショパン国際ピアノコンクール4位の小林愛実をピアニストに迎える枚方公演、10月13日（日）には中村勘九郎・中村七之助錦秋特別公演 2024 など、幅広いラインナップで事業を実施する予定。

▼総合文化芸術センター本館 関西医大 大ホール



<お問い合わせ>

観光にぎわい部 文化生涯学習課 ☎ 841-1409 FAX 841-1278